

黒見山公園のヒノキの伐採 (福山自治振興協議会より)

スマートフォン、PCでもかわら版

1月15日、16日に黒見山公園のヒノキの伐採が行われました。今回伐採をしたのは展望台の見晴らしを妨げていた公園北面のヒノキです。ヒノキは地権者の橋本龍吾さんから無償で提供していただきました。美作東備森林組合へ依頼し、伐採が行われました。中国山地をパノラマで見事に眺望できるようになりましたので、住民のみなさんもぜひ一度登ってみてください。



初種祈願祭 (柿ヶ原地区)

2月11日、柿ヶ原の八幡神社で「初種祈願祭」が執り行われました。稲作を中心とした農耕社会を基盤として成立してきた日本の社会文化。春には五穀豊穡を祈る「祈年祭」などの春祭りが、そして秋には五穀豊穡に感謝する「新嘗祭」などの秋祭りが至る所で執り行われ、世代から世代へ伝承されてきましたが、様々な要因で多くの地域でそのような伝統行事が途絶えてしまっていると聞きます。ここ福山地区も例外ではなく、秋の祭りは各地区で伝承されてきていますが、春の祭り「初種祈願祭」は柿ヶ原地区だけになっています。祝詞奏上は、お正月に柿ヶ原神社に参拝され、奉加帳に記帳された方々全員の名前、住所が読み上げられ、無病息災を祈念されました。

このような伝統行事が以前に比べ規模を小さくしているとはいえ、伝承されてきている事は素晴らしいことです。今後も稲作中心の農耕社会であった日本の社会文化の良さ、その由来や意味を学ぶ場として、また地域の方達の交流の場として伝承されていく事を願います。(投稿：柿ヶ原在住見学者)



コロナ対策用品等の配布 (福山自治振興協議会より)

1月16日、コロナ対策として、手指消毒液、ペーパータオル、ゴミ箱、竹ぼうきおよび熊手を福山多目的集会所をはじめ各地区の集会所に配布しました。コロナウイルス対策にご利用ください。

宗閑祭り (万善地区)

「宗閑祭り」が2月11日に万善地区の宗閑神社で執り行われました。例年、旧暦の大晦日に「宗閑祭り」を執り行ない、参会者に年越しそば、甘酒、養命酒などで接待をしてきましたが、今年はコロナ禍の中、神事のみを執り行いました。万善天神社左側の「宗閑神社」は徳川時代の末、養命酒の創始者で学者、から者でもあった「塩沢宗閑」という人物を祭ったお宮であり、腰痛を治してもらえる神様との言い伝えがあります。



「3密を避け」、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」で感染症対策!

「夢農場」玉ねぎ苗追肥 (福山地区ボランティアの会)



2月13日、福山地区ボランティアの会が夢農場の玉ねぎ苗に追肥をしました。この玉ねぎ苗は昨年12月に”なごみ“の皆さんと美作市社会福祉協議会の方達が「玉ねぎ苗植え体験」で植えた約200本とボランティアの会が植えた約1800本、合わせて2000本余りです。昨年と同じように、たくさんの大きな玉ねぎの収穫体験をしてもらえようと、追肥と併せて苗の横に生えている雑草も取り除いていきました。また追肥作業が終わった後、夢農場そばにある万善地区の集会場をお借りして、来年度のボランティアの会の活動の仕方を検討しました。



山の学校 ランチ

ランチ、再開します!

新型コロナウイルス感染拡大の影響により休止していました「山の学校ランチ」ですが、3月18日(木)より再開します。メニューにつきましては決まり次第、山の学校ホームページなどでお知らせします。

2月開催会議 報告

福山自治振興協議会 第4回委員会 (2月27日)

11月以降の活動報告を行い、①とんど祭り・防災訓練のまとめ、②令和3年度の事業計画、③次期役員改選等について協議しました。



3月から「楽行かわら版」の編集者が中野祐一から諸橋弘樹に変わりました。引き続き、記事の投稿をお待ちしていますので、よろしくお願いたします。

山家川俳句会 今月の俳句

うつた姫衣重ねて風に立つ
毒舌も少し納得初笑ひ

春名 はるを
井上 一徹仁